

## 令和2年度 第3回 美濃加茂市地域公共交通活性化協議会

### 議事録

日 時 : 令和3年1月7日(木) 14時02分～15時11分

場 所 : 美濃加茂市役所3階第1議会委員会室

出席委員 : 13名

#### 1. 開 会 (14:00)

(事務局 久保田)

#### 2. 会長挨拶

(伊藤市長) 皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。新年早々、市内で鳥インフルエンザが発生し、市民、会員の皆様にご負担をお掛けしました。県の方にご尽力いただきまして、法律で定める計画通り殺処分等の重い処置が完了いたしました。また、コロナ禍ということで、日常生活が全く変わってしまっている状態の中で、大変な思いをされ、それぞれの業務をやっている。心から敬服し、これからも皆さんとしっかりと連携をしていきたいと思っております。そういった緊張する状況の中で、協議会を開催しましたところ、またご多忙の中お集りいただきました。誠にありがとうございます。たぶんこの部屋を「寒いな」と思われるかもしれませんが、私ども、会議を開催するときには、定期的に換気をするということで空気の入れ替えの感染対策をとっておりますのでご理解いただきたいと思います。

今日は、先ほど司会からありましたように、事業評価ということでございますが、本当に皆様方のおかげで、あい愛バスが始まって20年という月日が経ちました。まだまだ課題も多く、皆様方のご要望にそぐわないところもあるかと思いますが、これからも連携をして、あい愛バスを全国に誇れる公共交通にしていきたいと思っておりますので、引き続きお願ひを申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

#### 3. 議 題

・議第1号 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

(澤田委員) フィーダー系の補助金申請は、毎年このような形で報告するのですか。

(事務局 村井) 毎年同じような形で報告させていただいております。

(澤田委員) そうすると、年間利用者の目標値は、申請している間は変わらないのでしょうか。

(事務局 村井) 目標値については、2次の計画が今後改めて反映してきますので、そこは実情に応じて新しい計画におきまして、来年度以降見直されることになっていきます。

(澤田委員) 会社だと、できるとすぐに上に乗っけてくるんですね。だから、目標値を高くしておくのと、いつまでも目標値に向かっていけるのです。ここからあまり動かず、目標値から離れているあまちの森・しょうよう線は目標値が3,000人に対して17,510人と書いてあるが、これはできたということで、来年いきなり1万人になったりする事はないのでしょうか。

(事務局 村井) 新しい計画は、今の実績に応じた目標設定にしておりますので、それなりに増えているということです。

(澤田委員) わかりました。

(伊藤市長) ぜひ、目標はさらに大きくお願いします。

(座長 松本) 網形成計画で策定した目標は中期的な目標になりますので、5年後の目標を掲げておりまして、目標に向かい徐々に進めていくということでございます。フィーダーの評価は毎年やってきまして、6月に目標を立てまして、皆さんに承認いただいて目標に向かってやってきますので、場合によっては凸凹があつて、凸凹がありながら5年後の姿に向かっていくのがいいのではないかと思います。また6月に目標設定する時に、場合によっては増えているようであればもうちょっと上を狙おうというような目標設定があつてもいいのかなと思います。ありがとうございました。

(座長 松本) その他いかがでしょうか。

(座長 松本) 他の自治体ではコロナの影響が出てきているのですが、コロナの「コ」の字も出ていないのですが、そこは大丈夫でしょうか。

(事務局 村井) 利用者数は、コロナの影響で令和2年4、5月は落ちているのですが、目標値が元々低い設定であつたので、あまり表に見えない。

(座長 松本) 他の自治体と比べてみるとすごく特異な評価結果になっておりまして、他はコロナでガクンと減っていて、引き続き安全対策を行うとともに、コロナが落ち着いたら利用促進再度頑張りますという形がほとんどです。そういうのが全くない。ちょっと目立つなと思います。とはいえ、コロナの影響があり、利用が落ち込みましたと補足していただいたほうがいい。もちろん、安全対策はしっかりとやっていますと言っていたほうがいいかと思います。評価としては、目標を上回っておりますので、記載まではいいかと思います。当日聞かれる可能性がありますので、その辺はそのように答えたほうがいいと思います。

⇒協議が調う。

(座長 松本) なお、この後、細かな数字の修正等あるかもしれませんが、先ほど事務局からも説明がありましたが、事務局に一任ということです。

・議第2号 美濃加茂市地域公共交通活性化協議会規約の変更について  
⇒質問なく、協議が調う。

#### 4. 報告事項

・報告事項1 地域公共交通優良団体大臣表彰について

(澤田委員) この表彰状を持っていない人は誰なのか。

(事務局 村井) 本来こちらに赤羽国土交通大臣がおみえになる予定でしたが、そのあと、副大臣もご都合が悪くなりまして、事務次官の方が表彰式に立ち会われまして、その事務次官の方です。

(座長 松本) おひとり法被を着られていいですね。テレビ放送はないですか。

(事務局 村井) プレスリリースはあったんですが、テレビの方は取材に来ていません。

(座長 松本) 大変喜ばしいことだと思います。これは市民の方に知っていただきたいと思いますので、市民の方への周知、宣伝はしていただいていますか。

(事務局 村井) プレスリリースはしております。賞状、盾をお持ちしましたので、後程ご覧ください。

(座長 松本) 車内は？

(事務局 村井) 車内はまだです。

(伊藤市長) やりましょう。

(事務局 村井) はい。

(座長 松本) 利用者の協力もあってということですので。ぜひ、お願いしたいと思います。

・報告事項2 あい愛バス20周年記念企画について

(伊藤市長) 美濃加茂市報に、毎月24回シリーズで、今ちょうど半分くらいにきておりますが、『バス停からのちいさな旅』というコラムをやっておりまして、まさしくそこに載っている写真を私どもの職員が撮って、文章を付けて毎月一つずつ出しております。地域の人が知らないようなところや場所を探し出して、バス停から歩くとこんなところがあるよというPRです。地域の誇りをもう一度みんなでも再確認しましょうという趣旨で始めております。これもまだ続きますので、このバス停カードについても9路線のなかで柔軟に増やし、自

分の地域の宝物を発見するような思いで、やっております。もう一つのバースデーカードというのは、「バス停カード」と似ておりますので、「バースデーカード」という軽い意味で作っております。これをお知り合いの方に出していただいて、「お誕生日おめでとう」と。例えば高齢者の方に出していただくと、「バスに乗ってみよう」ということになってもらえれば、高齢者のバスの利用が増えるのではないかという思いを持っております。このマスキングテープというのは、ほとんど知らないと思います。私も知らないが、今若い女性が非常に使っているようです。セロテープは、袋を閉じたりするイメージですが、これは、ちょっとしたメッセージを書いた下に、これを貼るとデザインとしてかわいらしいということで、職員に聞きますと、若い職員は結構持っているのです。これは、職員のアイデアで作ってくれましたので、バス停カードに貼って出すとか、そういう風に使えるということでございます。

(座長 松本) はい、ありがとうございます。本当全然知らなかった。素晴らしいアイデアですが、いかがでしょうか。バス停カードは、他の自治体へも広がっていくといいと思います。他の自治体へも乗り歩いて楽しみが広がるのかなと思います。

(伊藤委員) 何かで、他の自治体へも広がるように周知をやっていったほうがよい。地方整備局さんはダムカードを作られたり、「集める」のは、人間は結構関心が高いですから。美濃加茂だけでなく、他の地区にも集めたりすると、乗り歩く方も増えるのではないかな。

(座長 松本) 広がっていくのがいいなと思います。

(伊藤委員) 2次評価でもご紹介してもらおうといいですね。他の自治体も見ることがありますから。

(伊藤市長) 市報といっしょにPRを。

(事務局 村井) はい。

(座長 松本) 1月に愛知県で講演がありますので、コロナ禍でも、これだけ利用促進をやっておられるということを紹介させていただきます。

(伊藤市長) ありがとうございます。

(座長 松本) コロナで、非常に後ろ向きのマインドになっているところが多い中で、果敢にやっていくのは素晴らしい。

### ・報告事項3 あい愛バスの利用状況について

(座長 松本) コロナ禍でこの数はすごいなと思っておりますが、利用者の方から心配の声はなかったでしょうか。

(事務局 村井) マスクの着用については、懸念されている方はおられました。やはり着用されていない方もまだおみえになるようでして。運転手や、他のご利用者の方にも配慮いただけるような告知分を掲示させていただきました。そ

れ以外は、心配だというようなお声はあまり聞いていない。

(伊藤委員) 松本先生からも言われましたが、他の自治体からも散々たる結果なので、コロナで仕方がなく、2次評価で仕方がないということになるのですが、美濃加茂市は当初の目標自体が低めに設定されていたという事情もあって、2次評価には反映されていないということではあるのですが、逆にこれだけ落ち込みが少ないという、コロナ禍にあっても落ち込みがここまで収まったという強みをPRしても、むしろいいのではないかという気持ちです。秘訣というの難しいのかもしれませんが、他の自治体と比べてなぜ美濃加茂市は落ち込みが少ないのか、他の自治体にもPRできるといいのではないかと思います。さすが、大臣表彰を受けた自治体だなというところにもつながるのでは。

(座長 松本) ありがとうございます。

(事務局 村井) 私ども、手探りながらやっておるところで、検証はできておりません。今後検証や利用者のお声を聞くなどさせていただきたいと思います。

(座長 松本) たぶん、このあといろんな自治体さんから問い合わせがくると思います。「こういうことをやった、こういうことに気を付けた」など、お話していただくと他の自治体にいい情報になりまして、他の自治体が助かることになると思いますので、そういうまとめ方をお願いします。

(事務局 村井) はい。

(伊藤市長) バスの運転手さんも何か聞いていませんか。いろいろ努力しておると聞いておりますので。

(三輪委員) 感染対策は徹底して行っております。

(座長 松本) 車内でのお声がけはしていただいているのでしょうか。

(三輪委員) マスクをされていない方には、お声がけをさせていただいております。あまり強くは言えないが。

(座長 松本) 安全対策していただいているので、基本的には安心して乗っていただいている。

(澤田委員) 会社の中で完全にバスとタクシーの点呼の場所を分離している。普通は一緒にやったほうが楽だが、どちらかに感染者がでて、被害が広がらないようにきちっとしている。

(座長 松本) 会社の体制としても感染対策をしっかりやっていただいているので、いきわたっていくということですかね。

(加茂署 青木) 加茂署の青木です。村嶋交通課長の代理です。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。9月に秋の交通安全運動がありまして、その際にあい愛バスの中に、反射材を持ち込み、自由に持っていただく事を提案させていただいたところ、快く事業者さん、地域振興課さんに引き受けていただけてやらせていただいたこと。もう一点、ぎふ清流里山公園で出発式をやったのですが、一緒にあい愛バスも参加していただき、事業者の新太田

タクシー、美濃加茂市役所地域振興課、防災安全課にご協力いただき、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。今の話でもでておりますが、コロナ禍ということで、私自身、交通安全啓発をメインで担当しているのですが、面前で何か配ったりすることが全くできない状態でしたので、何か他の方法を考えなければならぬ立場だったのですが、第1回の協議会のときに利用者が非常に多いとお聞きしていたので、反射材を持って行ってもらおうということをご提案させていただいたら、快く受け入れていただいたということで、非常に助かりました。おかげさまをもちまして、報道などで出ておりますけれども、昨年1年間はずごく交通事故が減った。残念ながら美濃加茂市内では2件死亡事故が発生し、2名の方がお亡くなりになるという結果ではあったんですけども、県下全体では、半減するような数字になりました。コロナ禍で外出が減ったのもありますが、県民の皆さんの平素の意識がこういう結果に結びついたのではないかなと思います。特に公共交通というものは、事故防止にとって非常に重要な施策で、高齢者の免許返納促進につながるかとありますので、我々もこの協議会の一員ということで、引き続きお互い協力して、事故防止にも繋げていきたいと思っております。あい愛バスのバス停で、数カ所安全対策が必要な箇所があるようですので、ご相談いただいて知恵を出しながら対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(座長 松本) 大変すばらしい連携だなと思っております。交通安全の啓蒙とか教育、あるいは免許返納、公共交通と深い関わりがありながら、他の自治体ではなかなか警察とはうまくいかないのです。美濃加茂の事例はすばらしい。加茂警察署は、他の自治体とも関係されているのですか。

(加茂署 青木) 加茂郡7町村。

(座長 松本) 他の自治体も美濃加茂のようにうまくいっているのですか。

(加茂署 青木) いや、うまくいっていないので、「美濃加茂市を参考にしてください」と言ってしまう。駅の位置とかそういうこともあるのかなとは思いますが、ここまではない。

(座長 松本) すばらしい連携で、この連携をもっと広げていってもいいと思う。それから、数年前に振り込め詐欺防止の啓発も車内でやっていただいたね。それがずっと続くとよい。

(加茂署 青木) 継続していければいいと思うのですが、この私の座っている席の担当者がコロコロ変わってしまうので、「去年はそんなことやってたんだね」というくらいで、「新しいことを何か」というところもある。

(座長 松本) 新しいことプラス継続すること、両方あるといいですね。ぜひこの関係は続けていただきたいと思っております。公共交通側からも感謝申し上げたいと思っております。

(座長 松本) この特別応援商品券は、5,000円プラスあい愛バス乗車券1,000

円が付くということですか。

(事務局 村井) 75歳以上の方に限りということになりますが、5,000円プラスあい愛バス乗車券1,000円分が付いているということです。

(座長 松本) これも変わっていますね、すごい。普通は、5,000円で5,500円分の商品が買える、例えば。

(伊藤市長) これは介護関係の方を支援したいと、高齢者の方にもプラスアルファ。

(座長 松本) 買うわけではなくて、5,000円にプラス1,000円お配りしたということですね。素晴らしいです。他の自治体の参考になるようなものを出していただいて。コロナが落ち着いたら視察が増えるかもしれません。

(運輸支局 伊藤) この場をお借りして、運輸支局より取り組みの紹介をさせていただきたいと思います。お手元に令和2年12月23日にプレス発表した資料をお配りしました。『安全性確保対策が必要と判定したバス停留所リストを公表』ということで、皆さん、テレビ・新聞とかで見られたこともあるかと思いますが、横断歩道とか交差点に近接しているバス停については、交通安全上問題があるということで、全国全県で取り組みを行っておりまして、岐阜県におきましては、384カ所がリストアップされたということでございます。AランクBランクCランクをランク分けされておるんですが、ランクについては裏面に手法が掲載されておりますが、Aランクとしましては、『過去3年以内に停車したバスが要因となる人身事故が発生しているバス停留所』ということで、これは岐阜県、0でした。『バスがバス停留所に停車した際に横断歩道にその車体がかかるバス停留所』下で見ていただいて、バス停に停まった時に、バス車体がかかるといえるバス停留所というところが、Aランク。そしてBランクは、ちょっとそこから離れるイメージです。例えば①でいきますと、横断歩道の前後5メートルですので、下の図②のような状態で、バス停に停まったときにバス車体前後が横断歩道5メートル以内にかかります。それからもう一つは、交差点については、バスが実際にかかった場合、イメージ図でいきますと、①の左側にあるようなバスが交差点に停まった際に、交差点にバスが入ってしまっているような状態、こういうものをBランク。Cランクは交差点から、交差点の中には入らず、交差点の端から5メートル以内に停まってしまうようなものがCランク。その他、住民の方から危ないよというようなお声があるところはCランク。このようなランク分けをして、対策の優先順位付けをしたところでございます。もう1枚のほうが、384カ所のうち、美濃加茂市内に抽出されましたバス停をリストアップした資料になります。美濃加茂市内におきましては、8カ所がリストアップされております。実際のバス停留所みていただくとわかるように、同じバス停が対象になっているとわかるので、実際は4カ所

のイメージになります。バス停は登りと下りでそれぞれが、横断歩道、交差点に近いということです。判定結果としては、2か所がAランク、4か所がBランク、2か所がCランクということになってございます。今後早急にリストアップさせていただいたので、今後運輸支局から合同検討会というところで、警察、道路管理者、自治体、事業者を含めて合同検討会ということで、皆様いろいろなご検討いただいて対策を進めていくこととなりますので、ひとまず事業者、自治体、バス停が横断歩道、交差点から離せるよう検討してください。あるいは、ハード対策をして、実際に信号機を付けるとか、ハード対策を安全対策行ってください。ソフト対策としては、「横断歩道、交差点に近いので気を付けてください」とかの車内アナウンスをしていただくとか、そういうことをいろいろお願いしていきながら、対策を進めさせていただくこととなります。美濃加茂市内におかれましては、全部コミュニティバスということですので、美濃加茂市も安全について一度ご検討いただいて、移設できるものは移設していただく、どうしても難しければ廃止をするなどのハード対策をお考えいただきたい。これから、皆様と協力しあいながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(座長 松本) ありがとうございます。こういう安全対策はしっかりと進めさせていただきたいと思っております。現地によっては、なかなか対応が難しい所もあると思っておりますが、ぜひ皆さまの知恵を出し合いながら、利用客の安全確保をぜひお願ひします。

以上を持ちまして、予定の議題全てを終了となります。

(事務局 村井) 川辺町の福祉バスが、現在も当市へ乗り入れしておるのですが、医療センターができる関係を視野に入れられまして、バスの停留所を増設したいという相談が入ってきております。無料運行の福祉バスの運行になりますので、当協議会への協議の対象にはならないのですが、乗り入れをする、バス停が増えるということですので、詳細が決まりましたら、情報共有ということで、この場で川辺町からご説明賜りたいと考えておりますので、あらかじめご承知おきください。

## 5. 閉 会

(久保田課長) 松本座長ありがとうございます。協議会の中で、皆様からいただいたご意見で、コロナ禍でも利用客の落ち込みがなかったということ、市としても検証しまして他自治体へも情報共有ができるような形をしていきたいと考えております。それでは、令和2年度第3回美濃加茂市地域公共交通活性化協議会を終わらせていただきます。本日はありがとうございます。